堆肥の利用促進に向けた新しい肥料

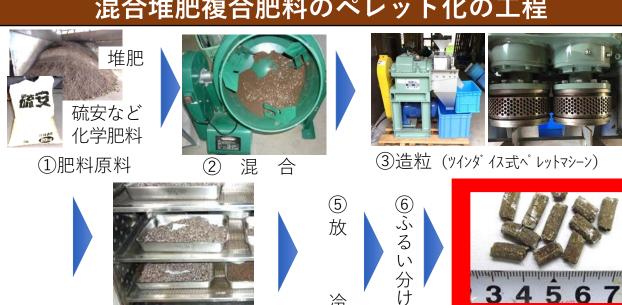
~散布しやすいペレット化&成分調整機能を追加した 「混合堆肥複合肥料」の作製~ 宮城県畜産試験場 草地飼料部

- ●土づくりや化学肥料使用量低減のため堆肥利用が必要
- 耕種農家は以下の理由により堆肥が十分活用されてない
 - ① 堆肥と化学肥料の2回の散布が必要
 - ②堆肥の容積大、保管性・運搬性が劣る
 - ③専用散布機械(マニアスプレッター)が必要
 - ④化学肥料より成分不安定·含量が低く、単位面積当たり施用量が多くなる
- 堆肥の利用促進のため新しい肥料の作製が必要。

対応策

- 有機センターやホームセンター等の**市販堆肥と化学肥料を**ツインダイス式 造粒機でペレット状に混合・造粒し、混合堆肥複合肥料を作製
 - ●作製した肥料の特徴
 - ①土づくりと施肥を1度に(省力化)
 - ②ペレット状に造粒し、従来の堆肥より容積を小さくし、保管性や運搬性が向上
 - ③耕種農家の多くが所有する機械(ブロードキャスター)で散布可能 (機械作業に耐えられる硬度)
 - (4) 堆肥の成分不足を化学肥料で補い成分が安定

混合堆肥複合肥料のペレット化の工程



冷

④乾燥(90°C10分以上)



⑦製品(ペレット肥料)